

第4学年 外国語活動学習指導案

指導者：英語領域専攻 ○○ ○○ (JTE)

○○ ○○ (ALT)

○○ ○○ (HRT)

指導担当教員 (○○ ○○)

1. 日時 令和○年○月○日 (○) 第○校時 (○ : ○○～○ : ○○)

2. 学年・組 第○学年○組 (○名)

3. 場所 ○年○組 教室

4. 単元名 “Let’s play cards!” 「好きな遊びをたずね合おう」(Let’s Try! 2 Unit 2 参照)

5. 単元目標

・友達が好きな遊びについて調べるために、相手に伝わるよう工夫しながら、天気に応じた好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。

※本単元における「聞くこと」については、目標に向けて指導は行おうが、記録に残す評価は行わない。

6. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。
話すこと 〔やり取り〕	イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。

7. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 〔やり取り〕	遊びについて、Do you like ~? や Yes, I do./No, I don't.などを用いて好きな遊びについて尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	友達が好きな遊びについて調べるために、相手に伝わるよう工夫しながら、天気に応じた好きな遊びについて尋ねたり答えたりしながら伝え合っている。	友達が好きな遊びについて調べるために、相手に伝わるよう工夫しながら、天気に応じた好きな遊びについて尋ねたり答えたりしながら伝え合おうとしている。

8. 言語材料

- How's the weather? It's [sunny / rainy / cloudy / snowy]. Let's (play cards). Yes, let's. Sorry. Stand up. / Sit down. / Stop. / Walk. / Jump. / Run. / Turn around.
- 状態・気持ち (hot, cold) , 動作 (stand, sit, stop, jump, turn, walk, run, look, put, touch, play) , up, down, on, around, left, let's, today, 身体の部位 (hand, leg) , 遊び (tag, jump rope, game) [既出] 挨拶・自己紹介 , I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. What (sport) do you like? 天気, 状態・気持ち, 身体の部位, 色, スポーツ

9. 児童について

児童は、第1学年と第2学年で年間35時間、第3学年で年間70時間の外国語活動の学習において英語に慣れ親しんできた。第4学年のUnit 1 “Hello, world!” 「世界のことばであいさつをしよう」では、英語だけでなく、歌で慣れ親しんだフランス語、韓国語、ドイツ語等を使い、進んで挨拶をしようとする児童の姿が見られた。また、既習の表現を活用して、自分の好きな色や食べ物、スポーツ等についても伝え合ったことで、友達について理解を深めることができたとの声も聞かれた。Unit 2 “Do you have e?” 「アルファベットクイズを楽しもう」では、アルファベットの小文字の読み方に慣れ親しみ、校内で見つけたアルファベット文字をもとにクイズを作り、友達同士で交流した。クイズ大会では、相手に分かりやすく伝えるための工夫について考え、それらを活かして活動する児童の姿が見られた。

明るく、活発に発言する児童が多く、外国語活動の時間にも積極的に発言したり、活動に意欲的に取り組んだりしている。また、友達と協力して活動しようという意識も高く、助け合いながら活動する様子も多く見られる。一方で、活動に慣れるにつれ、やり取りを急ぐ姿が見られることもある。互いのことをよりよく知るために、相手の思いに耳を傾けながらやり取りを行うことを大切にしたい。そのために活動に必然性をもたせたり、児童の生活と関連付けたりすることで活動への意欲を高め、児童が積極的に発言したり行動したりする姿を認めながら、友達と伝え合う楽しさを味わわせたい。

10. 単元及び取り扱う題材について

本単元では、児童にとって身近な遊びを題材に学習を進め、世界の遊びや英語での遊びの言い方について知るとともに、好きな遊びを尋ね合う表現や友達を遊びに誘う表現に慣れ親しむ。そして、単元終末には、慣れ親しんだ表現を使い、友達と天気に応じた好きな遊びを尋ね合ったり遊びに誘ったりする。単元の導入では、みんなで実際に楽しみたい遊びについて調べるために、友達と尋ね合おうと伝えることで、単元を通して児童が意欲をもって学習に取り組むことができるようにしたい。さらに、9月にオーストラリアの Belair Primary School の児童と交流する機会があることも知らせ、英語で好きな遊びを尋ねたり、遊びに誘ったりする場面をより身近に感じられるようにしたい。他教科等との活動と連動させ、外国語活動での活動を実生活につなげることで、児童の外国語活動への意欲をより高められるようにする。

第1時では、3名の指導者がそれぞれ好きな遊びについて紹介することで、児童が興味をもって英語での遊びの言い方に会えることができるようにしたい。第2時では、映像を視聴したり、遊びを体験したりして、世界の遊びについても知り、日本の遊びや遊びの言い方との共通点や相違点について考えることで、多様な文化や考え方にふれる機会としたい。さらに、第3時には、みんなで実際に楽しみたい遊びについて調べるために、相手に伝わるよう工夫しながら、指導者や友達と天気に応じた好きな遊びを尋

ねたり答えたりして友達と伝え合う。第 4 時では、引き続き、友達と好きな遊びを尋ねたり答えたりして伝え合う。前時での経験をもとに、相手に伝わる工夫について全体で考えを交流する時間を設定し、よりよいやり取りへの意識を高めたい。

単元を通した指導者や友達とのやり取りを通じ、相手に伝わるよう工夫して尋ねたり、答えたりしようとする姿勢を育みたい。

1 1. 単元の指導と評価の計画 (全 4 時間)

時	◆目標・○主な活動	◎評価規準【観点】<方法>
1	<p>◆日本語と英語の音声の違いに気付くとともに、遊びや天気などを表す言い方を知る。</p> <p>○指導者の話を聞き、遊びや天気の言い方に出会う。</p> <p>○日本各地の遊びについて知る。</p> <p>○やってみたい日本の遊びについて答える。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>※第 1・2 時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。</p>
2 (本時)	<p>◆遊びや天気などの言い方に慣れ親しみ、好きな遊びを尋ねたり答えたりする。</p> <p>○指導者がどんな天気ですどんな遊びをするかについて聞く。</p> <p>○世界の遊びについての映像を視聴し、日本の遊びとの共通点や相違点について考える。</p> <p>○ある遊びが好きかどうかについて友達と尋ねたり答えたりする。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	
3	<p>◆学級の友達と互いのことをよりよく知り合うために、相手に伝わるよう工夫しながら、天気に応じた好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>○指導者とやり取りをし、遊びや天気についての質問に答える。</p> <p>○天気に応じた好きな遊びを尋ねたり答えたりして友達と伝え合う。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>◎遊びについて、Do you like ~?や Yes, I do./No, I don't.などを用いて天気に応じた好きな遊びについて尋ねたり答えたりしている【知】<行動観察・振り返りシート記述点検>。</p> <p>◎友達の好きな遊びについて調べるために、相手に伝わるよう工夫しながら、天気に応じた好きな遊びについて尋ねたり答えたりしながら伝え合っている【思】<行動観察・振り返りシート記述点検>。</p>

4	<p>◆学級の友達と互いのことをよりよく知り合うために、相手に伝わるよう工夫しながら、好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>○天気に応じた好きな遊びを尋ねたり答えたりして友達と伝え合う。</p> <p>○天気に応じて、どんな遊びをしたい友達が何人いたかを交流する。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>◎友達の好きな遊びについて調べるために、相手に伝わるよう工夫しながら、好きな遊びについて尋ねたり答えたりしながら伝え合おうとしている【主】〈行動観察・振り返りシート記述点検〉。</p> <p>※第3・4時の2時間で、記録に残す評価を行う。なお、本単元のみで全児童について見取るのではなく、1年間を通して全児童について見取ることとする。</p>
---	--	--

1 2. 本時について

(1) 本時の目標

遊びや天気などの言い方に慣れ親しみ、好きな遊びを尋ねたり答えたりする。

(2) 本時の展開

学習活動 (活動の担当【J】JTE【A】ALT【H】HRT)	支援・留意点 (○) 評価 (◎)
<p>Greeting【A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・単元の流れ・本時のめあてと流れを確認する。 	<p>○本時のめあて・流れを示すことで、児童が見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。</p>
<p>天気や好きな遊びを尋ねたり答えたりする言い方になれよう。</p>	
<p>Let's Listen【A・J・H】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな天気でどんな遊びをするかについて、指導者の話を聞く。 	<p>○3名の指導者が、天気と遊びを関連させながらやり取りをし、興味をもって繰り返し表現を聞くことができるようにする。</p>
<p>Let's Watch and Think【J】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の遊びについての映像を視聴し、日本の遊びとの共通点や相違点について考える。 ーベトナム トアンザオ地域の伝統的な遊び (綱引きに似た遊び) ーアメリカ Red, Light. Green Light. (だるまさんが転んだに似た遊び) 	<p>○日本の遊びと共通点の多い世界の遊びを紹介することで、自分たちの知っている遊びと比較しながら考えられるようにしたい。</p>

<p>Let's Talk 【A・J・H】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌 “Eeny, meeny, miny, moe” を聞く。 ・歌に合わせてカードを指さし、最後に指を指したカードの遊びについて友達と尋ね合う。 <p>SS : Do you like tag? S1 : Yes, I do./No, I don't.</p> <p>Reflection 【J】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返る。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル教材を活用し、歌と映像を併せて提示することで、歌が歌われる場面を推測しながら聞くことができるようにしたい。 ○指導者のデモンストレーションを通して、活動の仕方を理解することができるようにする。 ○友達と一緒に楽しみながら語や表現を繰り返し聞いたり言ったりすることができるようにする。 ◎本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。 ○単元計画をもとに、次時の学習の見通しをもつことができるようにする。 ○本時のめあてに沿って学習を振り返るよう促す。
--	---

1 3. 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p>天気や好きな遊びを尋ねたり答えたりする言い方になれよう。</p> </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">学習の流れ</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 90%;"> <p style="text-align: center;">絵カード (天気・遊び)</p> </div>